

常任理事会だより

山川智之

本稿では、前号で報告後、平成 28 年 3 月 18 日、4 月 22 日、5 月 14 日、6 月 24 日に開催された計 4 回の常任理事会の内容のうち主なものをお伝えするとともに、日本透析医会の主な活動についてご報告します。

1. 通常総会の開催について

5 月 15 日、日本透析医会通常総会が開催されました。その内容と主な決定事項は本号に掲載のとおりです。今年も研修セミナーと同時開催とさせていただきましたが、多数のご出席をいただきありがとうございました。

2. 熊本地震の対応および災害情報ネットワーク会議について

今年 4 月 14 日に M 6.5 の熊本地震が発生し、日本透析医会としては災害時情報ネットワークによる情報収集を開始しました。翌 15 日の時点で透析不能施設が数施設あることを確認しておりましたが、16 日未明に M 7.3 の本震が発生、複数の透析施設に大きな被害があることが想定されたことから、筆者は福岡県透析医会の百武会長に福岡県内での支援透析の準備の依頼をするとともに、厚生労働省がん疾病対策課に中央行政としての支援を要請、具体的には遠隔搬送になる場合の自治体の支援を要請しました。また JHAT（日本災害時透析医療協働支援チーム）に現地の情報収集を依頼しました。

16 日時点で、断水等により熊本県下で約 20 施設が透析不可となっていましたが、厚生労働省健康局がん・疾病対策課と熊本県透析施設協議会、熊本県健康福祉部健康局医療政策課で連絡をとり、県と自衛隊が透析施設に優先的に給水を行ってもらうことで、支援透析はほぼ熊本県下で完結しました。福岡県透析医会によって、福岡県下で数百人規模の受け入れ体制が整備されていましたが、組織的な透析患者の移動は、数十人にとどまりました（久留米大学へ入院患者 10 名、阿蘇地区から大分へ数名）。

JHAT が被災施設スタッフ支援のために物的、人的支援を開始、被災施設および JHAT の活動費用等の支援目的で 4 月 18 日に日本透析医会より支援金募集を開始したところ、62,860,343 円という大変な金額のご支援をいただきました。書面ではありますが心より感謝申し上げます。

その後、現地の状況より判断し、5 月 13 日に災害時情報ネットワークの情報収集を終了、5 月

20日には、篠田専務理事と山川常務理事で、熊本県を訪問させていただきました。

支援金の使途については、常任理事会で厳正に検討の結果、熊本県透析施設協議会、JHATの活動費用、熊本臨床工学技士会等に配布することになりました。詳細については当会のHPにご報告させていただきます。なお熊本地震の対応については、現地の報告も含め、日本透析医会雑誌第31巻3号にて詳細に報告させていただく予定になっております。

また日本透析医学会学術集会開催期間中の6月12日に、大阪におきまして第17回災害時情報ネットワーク会議を開催しました。今年は、昨年9月の鬼怒川決壊による災害に対する対応について、茨城県臨床工学技士会の中山裕一会長から特別講演としてご報告いただき、また今年4月に発生した熊本地震に対する対応について、熊本県透析施設協議会の久木山厚子先生を始めとしてご報告をいただきました。ご多忙中参加していただきました先生方には厚く御礼申し上げます。会議の内容については、12月発刊予定の日本透析医会雑誌31巻3号でご報告させていただきます。

3. 第21回透析保険審査委員懇談会について

日本透析医学会学術集会の期間中の6月10日に、大阪におきまして全国の透析関連の保険審査委員、支部長の先生などにご出席いただき第21回透析保険審査委員懇談会が開催され、長時間にわたり活発な議論が行われました。例年お忙しいところご出席いただいた先生方には御礼申し上げます。詳細につきましては12月発刊予定の日本透析医会雑誌31巻3号でご報告の予定です。

4. 日本透析医会研修セミナーについて

平成28年5月15日に日本透析医会総会と同時開催で、品川コクヨホールにて日本透析医会研修セミナー・透析医療におけるCurrent Topics 2016「透析患者の感染症への挑戦」を開催しました。これまでにないほど多数のご参加をいただき一部の参加者にはご迷惑をおかけしました。昨秋の新潟での開催に引き続き、秋の研修セミナーは、巻頭のご案内の通り、「日常臨床のピットフォール」をテーマに、広島市のリーガロイヤルホテル広島で11月6日（日）開催の予定です。お誘い合わせのうえたくさんのご参加お待ちしております。

5. 平成28年度日本透析医会公募研究助成について

今年度も腎不全医療、特に透析医療を推進するための学術研究に対し、公益事業の一つとして日本透析医会より公募研究助成を行います。詳細については日本透析医会ホームページをご参照ください。